

建設進む中山中学校



今年12月完成予定の中山中学校の改築工事は順調に進んでいます。

昨年7月から始まった工事は、工程どおりに進んでおり、校舎棟・屋内運動場棟の1階部分の工事が行われています。

工事の進捗状況は町ホームページに掲載していますので、トップ画面の中山中学校改築事業バナーからご覧ください。

う〜ん。どれにしようか迷っちゃう 豊田小でバイキング給食



2月3日、豊田小学校6年生を対象にバイキング給食が実施されました。

小中学校9年間の学校給食の中で1度だけのバイキング給食とあって、この日を楽しみにしていた6年生。自分が好きなものだけではなく主食・主菜・副菜・デザートといった栄養のバランスを考えて各自皿に盛り付け、バイキング給食を楽しんでいました。

学校給食試食会を開催します

- 日時 3月27日(金)午前11時30分開場
午後1時15分終了(ただし、無くなり次第終了)
- 場所 中央公民館大ホール
- 参加料 無料
- 準備食数 400食(主食、お汁、主菜、副菜の1人分を試食。無くなり次第終了)
- その他 町民及び町内在勤者の方はどなたでも参加可。牛乳やその他の飲物の用意はできませんので、必要な方は各自ご持参ください。

※お問い合わせ先
学校給食共同調理場 ☎662-2035



開所式の様子

2月23日には学校給食センター開所式が行われ、町や建設関係者約50人が出席し、佐藤町長や須貝議長らが完成を祝してテープカットを行いました。

開所式で佐藤町長は「学校給食は栄養面で子どもたちの健全な心身を育み、準備や後片付けなどを通して規律や協調性を養うことができます。また、学校給食においても「食育」の考え方が取り入れられるようになり、子どもたちが食に対して正しい理解をし、望ましい食生活を自分で判断できる力を養うという重要な目的も担っています。中山の子どもたちが、学校給食によって健康な心身を作り、これまで以上に勉学とスポーツに励んでいただけるよう、人づくりの一助も果たすことを期待します」とあいさつしました。

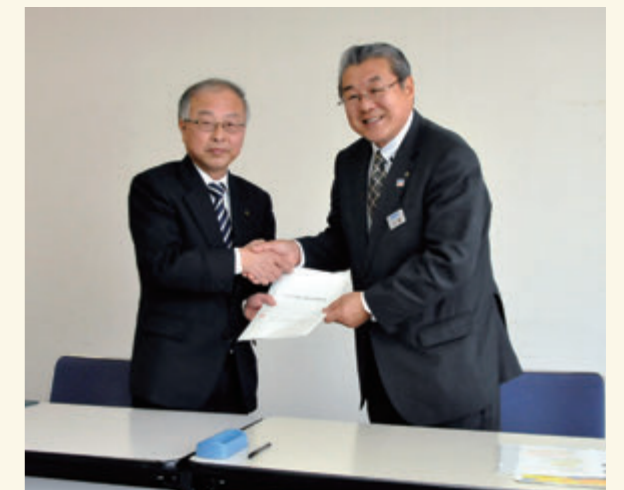


なかやま西部工業団地

現在の分譲率は約62.75%



なかやま西部工業団地内に 「辛セキ東北」が新たに進出



中山町土地開発公社理事長の森谷副町長(左)と辛セキ東北の辻嶋社長が分譲契約書を取り交わしました。

なかやま西部工業団地に株式会社辛セキ東北(宮城県岩沼市)が進出することになり、2月6日に分譲契約調印式がひまわり温泉「ゆ・らら」で行われ、中山町土地開発公社理事長の森谷副町長と辛セキ東北の辻嶋社長が契約書に調印しました。

今回の購入は工業団地内の一区画7222・11㎡で、今後は4月中に建設に着工し、今年8月中に完成、10月以降に営業を開始する予定です。

辛セキ東北は山形県内各地にあった営業所等を今回の土地に

集約し、農業用機械器具の販売や修理、農業用資材・薬品・肥料の販売、コイン精米機の運営、農業用施設の設計や施工・管理を行っていく予定です。

辻嶋社長は今回の進出の理由として「なかやま西部工業団地は県全体の中心。寒河江インターチェンジも近く、交通アクセスもいい。県全体をまとめることができる良い場所が見つかった。農業は中山町の基幹産業であるので、町の活性化にもつなげていきたい」と話していました。